

【予算委員会】

(1) 審議概観

第144回国会において本委員会は、平成10年度補正予算（第3号、特第2号、機第2号）の審査を行った。

〔予算の審査〕

我が国経済は、本年4月の事業規模総額16兆円超の総合経済対策の実施にもかかわらず、失業率及び有効求人倍率など雇用環境が一段と悪化するとともに、個人消費の低迷、企業設備投資の落ち込みなど、依然として厳しい状況が続いてきた。10月には昭和59年度以来14年ぶりに年度半ばに経済見通しを改訂し、当初見通しのプラス1.9%からマイナス1.8%へと大幅な下方修正を余儀なくされ、平成9年度に続き2年連続のマイナス成長となることが確定的となった。そのため政府は、我が国経済を一兩年のうちに回復軌道に乗せ、平成11年度にははっきりとしたプラス成長にすることを目標に掲げ、11月16日、事業規模総額17兆円超、さらに6兆円超の減税を加えると23兆9,000億円の史上最大規模の緊急経済対策を策定することとした。

緊急経済対策を受けた補正予算は、当初、平成11年度当初予算と併せた15カ月予算として編成し、年明け後の通常国会に提出される予定と報じられていたものの、政府は景気の実態が依然厳しいことに配慮して、補正予算の年内編成、成立を目指すこととした。

平成10年度補正予算（第3号、特第2号、機第2号）は、一般会計において、歳出面で、信用収縮対策等金融特別対策費として中小・中堅企業等金融特別対策費などを、社会資本整備費として、情報通信・科学技術特別対策費、環境特別対策費、物流効率化・産業競争力強化特別対策費などを、さらに地域振興券、雇用対策費、アジア対策費等を計上する一方、歳入面では、景気の低迷等により、租税及印紙収入の減少を見込むほか、財政法第4条第1項ただし書及び特例法に基づく公債の増発をそれぞれ行うこと等を内容とするものである。一般会計の補正等に関連して、特別会計においては国立学校特別会計など21特別会計について、また政府関係機関においては国民金融公庫など6政府関係機関について所要の補正が行われている。

補正予算3案は、12月4日国会に提出され、同日宮澤大蔵大臣から趣旨説明を聴取し、12月9日及び10日委員会質疑を行った後、討論、採決を行い、翌11日成立した。

委員会の質疑では、政府の景気の現状認識はどうか、今年度の経済成長率は政府の改訂見通しどおりマイナス1.8%の範囲におさまるのか、緊急経済対策の経済効果はどの程度か、との質疑が行われ、小渕内閣総理大臣及び関係大臣からは「景気は極めて厳しい状況が続いているが、スーパーの売り上げや軽自動車の販売等が増加しているなど、一部に変化の兆しが見え始めている。いま景気はさらに悪くなる動きと、幾分回復する動きが混在しており、厳しい中にも新しい胎動が見られる。今年度の経済見通しの達成はやや厳しいが、再改訂するほどのことはない。また、経済対策の効果については、1年間で名目2.5%、実質2.3%程度の押し上げ効果があると見ているが、今回の補正予算を含めたあらゆる

国土環境

予算

る経済政策を実施していくことにより、明年度にははっきりとしたプラス成長を実現したい」旨の見解が示された。

このほか、金融機関の貸し渋りと付け替えの実態、21世紀型社会資本整備のあり方、減税の早期実施の必要性、中小企業の育成策、地域振興券の効果と実施上の課題、政府経済見通しのあり方、消費税の福祉目的税化と年金国庫負担問題、介護保険制度の問題点、地方分権推進への取り組み姿勢、情報公開法制定の政府決意、米関税化問題、防衛庁不祥事と信頼回復の必要性、予防接種の改善策、北方領土をめぐる対ロシア交渉姿勢、男女共同参画型社会実現への政府の取り組み等について質疑が行われた。

(2) 委員会経過

○平成10年12月4日（金）（第1回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。
- 平成10年度一般会計補正予算（第3号）（予）
平成10年度特別会計補正予算（特第2号）（予）
平成10年度政府関係機関補正予算（機第2号）（予）
以上3案について宮澤大蔵大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成10年12月9日（水）（第2回）

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成10年度一般会計補正予算（第3号）（衆議院送付）
平成10年度特別会計補正予算（特第2号）（衆議院送付）
平成10年度政府関係機関補正予算（機第2号）（衆議院送付）
以上3案について小淵内閣総理大臣、堺屋経済企画庁長官、宮澤大蔵大臣、与謝野通商産業大臣、野中内閣官房長官、柳沢国務大臣、甘利労働大臣、関谷建設大臣、井上国土庁長官、真鍋環境庁長官、中川農林水産大臣、宮下厚生大臣、野呂田防衛庁長官、高村外務大臣、竹山科学技術庁長官、太田総務庁長官、西田自治大臣、有馬文部大臣、政府委員、参考人日本銀行総裁速水優君及び同銀行金融市場局長山下泉君に対し質疑を行った。

○平成10年12月10日（木）（第3回）

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成10年度一般会計補正予算（第3号）（衆議院送付）
平成10年度特別会計補正予算（特第2号）（衆議院送付）
平成10年度政府関係機関補正予算（機第2号）（衆議院送付）
以上3案について小淵内閣総理大臣、堺屋経済企画庁長官、与謝野通商産業大臣、宮澤大蔵大臣、中村法務大臣、宮下厚生大臣、太田総務庁長官、中川農林水産大臣、関谷建設大臣、真鍋環境庁長官、野中内閣官房長官、高村外務大臣、柳沢国務大臣、

西田自治大臣、政府委員及び参考人石油公団総裁鎌田吉郎君に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

(平成10年度第3次補正予算) 賛成会派 自民、公明、自由、参院の一部、二連
 反対会派 民主、共産、社民、参院の一部

○予算の執行状況に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

(3) 付託議案審議表

・予算(3件)

番号	件名	提出月日	参議院			衆議院		
			委員会 付託	委員会 議決	本会議 議決	委員会 付託	委員会 議決	本会議 議決
1	平成10年度一般会計補正予算(第3号)	10.12.4	10.12.4 (予備)	10.12.10 可決	10.12.11 可決	10.12.4	10.12.8 可決	10.12.8 可決
2	平成10年度特別会計補正予算(特第2号)	12.4	12.4 (予備)	12.10 可決	12.11 可決	12.4	12.8 可決	12.8 可決
3	平成10年度政府関係機関補正予算(機第2号)	12.4	12.4 (予備)	12.10 可決	12.11 可決	12.4	12.8 可決	12.8 可決